

アレルギー疾患について

町立金山診療所
臨床検査技師 大森 喜江

今や、日本人の4割に症状があるといわれる花粉症やアレルギー性鼻炎からも分かるように、かつてと比較するとアレルギー疾患の患者数は非常に増えています。これは、スギ花粉の飛散量が増加したのみならず、生活環境の変化も大きな要因になっています。環境が清潔になり、体の免疫系が感染防御からアレルギー発症の方に傾いてきたので、アレルギー反応を起こすようになったといわれます。加えて、食事の欧米化、気密性の高い住宅、あるいは大気汚染やストレスなども関係していると考えられます。私たちの体には、異物が入ってくることを攻

撃して排除する「免疫」という働きが備わっています。例えば一度、「麻疹（はしか）」に罹患したことがある人は、その病気の抗体ができることで、二度目以降には症状が出なくなります。これも免疫の働きによるものです。

ところが、この免疫が過剰に働き、自身を傷つけてしまうのが「アレルギー反応」です。こうしたアレルギー反応を起こす物質は主に「食物」や「ダニ」、「花粉」や「カビ」あるいは「ペットのフケ」や「薬剤」などがあります。これらのアレルギー反応を起こす原因物質を「アレルギー」と呼びます。アレルギーはI型からIV型の4種に分類することができ、最も知られているのが「IgE抗体」によって引き起こされる即時型のI型アレルギーです。「花粉症」「アレルギー性鼻炎」「気管支喘息」「アトピー性皮膚炎」「食物アレルギー」などがI型アレルギーの代表的なものです。

アレルギーがあるかどうかは、血液検査あるいは皮膚検査で調べることが出来ます。血液検査はほとんどの医療機関で受けることができますので、気になる場合は調べておくともよいかもれません。

令和4年
4月から!

デマンド交通の導入を検討しています

デマンド交通とは?

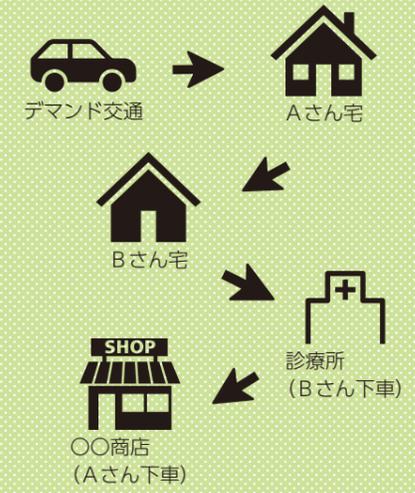
利用者の予約のもと、自宅から町内の公共施設や医療機関、お店などへ送迎するサービスのこと

町の路線バスは、利用者のいない時間帯も多い状況にあります。が、今後、足腰の弱いお年寄りの方の利用が増えることも見込まれます。そのため、最上郡内の多くの町村で導入が進んでいる「デマンド交通」を令和4年4月から導入する方向で検討しています。

現在、中田線・西郷線・東郷線についてデマンド交通への移行を検討しています。温泉利用の多い有屋線や山交バス区間は現行料金で引き続き路線バスをご利用ください。導入に向け参考とさせていただきますので、ぜひご意見をお寄せください。

役場町民税務課

くらし安全係
☎52-2111(内線240)



現在検討しているデマンド交通のイメージ

- ① 利用者はあらかじめ利用登録を行う
- ② 前日の午後3時まで、電話で予約する
- ③ 自宅で待ち、近所で利用する方がいれば相乗りで乗車
- ④ 帰りは予約した時間・場所から乗車し帰宅

料金 現在の路線バス料金から大幅に増えない金額で検討中
運行時刻 月～金 9時台、10時台、12時台、13時台
(朝、夕の時間帯は現行料金でバス停からスクールバスに乗車可能)
※内容は変更となる場合があります

ーわたしと金山ー No.7

仙台での中学・高校まで

林 寛治

人口3万人の柏崎市から30万人の仙台市に移った中学1年生の感覚は、説明し難いものでした。終戦直前の中心部の爆撃からは4年目を迎えていたはずですが、かつての杜の都の面影はなく、バラックや応急建築が立ち並んでいたからかも知れません。また、第二師団の後にはアメリカ第8軍が進駐しており、苦竹キャンプや、川内キャンプが占領下という状況を示していたからだと思います。事実、1950年6月末から53年7月末まで朝鮮戦争が行われており、国連軍の主軸として米軍は新たな戦争中だったのです。

中学では音楽好きの友人からの影響を受けて、クラシック音楽を聴くことを覚え、2年になると調子に乗って、使われていない階段教室で有志とレコードコンサートなど試みたりしました。中2の新学期に学校合同があり、1学年、2クラス80人から4クラス160人となり、そのために校舎も移つ

たので、催やスポーツ活動などが活発になったからでした。東京の兄からの影響も加わり、勉強からの逃避もあって音楽・映画・美術などに関心が強くなりました。高1の時、はじめて観たオペラはモーツァルトの「フィガロの結婚」です。近衛秀麿指揮による二期会、藤原等の創立メンバー出演によるもので、素朴なプログラムも大事にとつてあります。当時はオペラができる舞台が無く、仙台市役所裏手にあった東北劇場という、映画館で上演されました。歩いて行ける距離に新築された仙台市公会堂ではシャンソンのダミアも聴きました、貼り付けてある切符には1953年5月19日¥400とあります。母とはポーランドの民族舞踊団公演を観に行きました。東北劇場は普段は古い名映画など上映する映画館でした。高校受験、2浪を経ての大学受験の時期・時代を除けば、美術や音楽・映画に憧れた軟派の劣等生だったと思います。仙台市国分町角の丸善書店で手にした書籍が、中央公論社刊・岡鹿之助「フランスの画家たち」、大久保泰「宿命の画家達」と「菊地一雄「ロダン」」の3冊の上製本でした。24年、25年の出版

ですが、手元にあるそれらを開くと、直ぐちぎれてしまうほど紙質は粗雑です。当時も今も中身は魅力ある書籍ですが、美術方面に進むという意思は皆無だったので、不思議な感じでした。

私が生まれた東京・本郷時代の小さな家も賑やかな家だったらしいのですが、仙台での新しい住宅は、両親の郷里(金山と上山)が近くなり、親戚・知人・友人の来客が絶えませんでした。茂吉先生のご子息・北杜夫こと斎藤宗吉氏と、大石田の板垣家子夫氏のご子息・昭雄氏は共に東北大学医学部在学中で、北先生にはたまに、板垣昭雄氏には私の高校受験時に、理数と英語を見てもらいました。上台の近岡伊三郎氏も立ち寄られました。



飲酒運転・冬の交通事故防止強化旬間及び年末地域安全運動

期間 12月11日～12月20日

年末はお酒を飲む機会が増える時期になります。飲酒運転を絶対に「しない・させない・許さない」を徹底し、危険運転は絶対にやめましょう。冬も本番に入り、積雪や路面凍結などの道路環境の悪化等による重大事故が懸念されます。特に12月は年間でも最も交通事故の発生が多い月です。車は早めに点灯し、スピードは控え目に、歩行者のいる横断歩道で確実に停車するとともに歩行者は明るい服装と夜光反射材「命のバンド」を着用し、交通事故を起こさない、遭わないようにしましょう。また、侵入窃盗や車上狙い等、身近で発生する被害や、特殊詐欺の増加が懸念されます。事件・事故のない安心して暮らせる町づくりを地域全体で取り組みましょう。

役場町民税務課

くらし安全係
☎52-2111(内線246)